

令和元年度 事業計画書

一般社団法人長野県薬剤師会

— 人に寄り添い、地域とともに歩む —

2019年度は、天皇陛下のご退位と皇太子殿下のご即位、そして平成から新たな歴史を刻む年となる。

人口減少・超高齢社会にあって、本県は全国を上回る高齢化の進展と急激な人口減少が続いている。これを背景に長野県は、総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」を策定(平成30年)し、その中で「健康長寿」世界一を目指した「第2期信州保健医療総合計画」を推進している。また、国も人生100年時代を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けて医療機能の分化と強化、他職種との連携等の体制作りを急いでいる。2019年度予算には、「かかりつけ薬剤師・薬局の充実・強化」に関する事業等が計上され、税制改正大綱に事業継承税制が創設されるなど、薬剤師に対する業務や職能への期待が寄せられている。

一方で社会構造の変化に伴い、保険医療財政は年々厳しさを増し、医療費抑制策が断行されている。医薬品医療機器法改正を含む制度改正に向けては、「薬局・薬剤師の役割」や「医療連携」が明記され、新たな薬局の類型が新設される。私達は改めて薬剤師の役割と薬局の機能について原点に立ち戻り、薬剤師としての自信と誇りをもって、地域住民の健康と安全を守るために医薬品の適正な提供に努めなければならない。

本県の分業率は、全国平均(72.8%)を上回る73.4%と順調に進展してきた。しかし、医薬分業に対する批判は根強く、さらには分業の根幹を揺るがす医療施設における敷地内薬局開設問題が全国各地で顕在化している。断固反対の姿勢を貫く本会は、引き続き「健やかな面分業」を推進する。その上で、「患者のための薬局ビジョン」が示す「かかりつけ機能」の役割を発揮し、対物業の適正化と対人業務の重視、薬局の機能分化のあり方、多職種連携による服薬情報の一元的・継続的な把握等の機能を果たし、患者本位の「かかりつけ薬局」として「くすり中心から患者中心へ」を確実に実践しなければならない。そのための本会認定「信州健康支援薬局」及び国の「健康サポート薬局」の認定拡大と広報を促進する。

新たな時代の一步を歩み始める本会は、全会員に対する薬剤師綱領及び薬剤師行動規範並びに法令順守を徹底し、資質の向上と薬剤師育成に努めながら諸事業を展開する。特に薬剤師生涯教育と薬学生実務実習の充実、県民に対する職能啓発とかかりつけ機能の広報、医薬品の適切な販売体制の徹底、新基金を活用した復職就業支援及び在宅医療推進研修事業、災害時の医療救援体制の充実等地域社会貢献事業に取り組む。さらに本年度は多職種連携によるフレイル対策、ポリファーマシー対策の推進支援に取組み、在宅医療の充実に努める。これらの事業は薬・薬連携はもとより、全職域の薬剤師との協働により機能的なものとする。

会務運営においては、時代に則したICT等を積極的に推進し、会員負担の軽減と業務の効率化を図るとともに、入会促進と退会防止施策を検討し、財政基盤の安定化を図りながら健全運営に努める。また、本会医薬品総合研究センター及び生活科学センターの10年後を見据え、修繕・建替え等の検討に入る。

会務運営をはじめ、諸事業の推進や諸課題の対応には、全会員の理解と協力は不可欠であることから、地域薬剤師会との連携をより良好なものとし、会員のための組織活動に努める。

本年度も、安心・安全な医薬品の適正使用、薬物治療の確保を活動の基本とし、地域住民に寄り添い、地域社会とともに歩みながら、医療・福祉・環境、学校保健、地域社会活動等の様々な分野において薬剤師職能を発揮し社会の期待に応える。

以下、一般社団法人として定款・規程等に則り、地域薬剤師会、日本薬剤師会との連携・協働の下、県民医療の向上と地域社会への貢献を目的に次の事業を行う。

- (1)薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2)薬剤師職能の向上に関する事業
- (3)公衆衛生の普及・指導に関する事業
- (4)薬事衛生の普及・啓発に関する事業
- (5)薬業を通じた医薬品の流通及び適正使用に関する事業
- (6)地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業
- (7)薬学生の育成に関する事業
- (8)災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業
- (9)会営薬局運営に関する事業
- (10)検査センター運営に関する事業
- (11)介護保険法に基づく居宅介護支援事業
- (12)日本薬剤師会、地域薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (13)会員の福利厚生に関する事業
- (14)機関誌並びに薬事関係書籍等の刊行に関する事業
- (15)その他本会の目的を達成するために必要な事業

1. 薬剤師倫理に関する事項

(1)薬剤師倫理の徹底

- ①薬剤師綱領の徹底
- ②薬剤師行動規範の徹底 など

(2)薬剤師倫理教育の強化

- ①薬剤師倫理教育の強化
- ②薬学生実務実習における倫理教育 など

**(3)医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・薬剤師法・医療法等
法令順守の徹底**

- ①各種法規への対応
- ②医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・薬剤師法・医療法等
法令順守の徹底
- ③保険薬局個別指導等への対応
- ④保険薬剤師研修会等における啓発 など

(4)本県の「健やかな面分業」の質的向上

- ①敷地内薬局開設断固反対 など

(5)薬剤師資格証発行への協力

- ①薬剤師資格証発行体制の整備 など

2. 薬局機能の基盤強化に関する事項

(1)かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局機能の充実、医薬分業の質的向上

- ①かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局の推進と機能充実に向けた支援
- ②患者のための薬局ビジョンの周知徹底
- ③診療報酬・調剤報酬改定(2020年度)への対応
- ④保険薬剤師研修会の開催
- ⑤保険調剤ガイドブックの活用
- ⑥保険調剤ニュースの発行
- ⑦電子お薬手帳の普及の支援
- ⑧保険薬局地図のWeb化の充実と広報 など

(2)在宅療養推進のための支援

- ①地域医療介護総合確保基金(平成31年度長野県計画)を活用した、薬剤師を活用した在宅医療推進研修会の開催
- ②在宅療養推進連絡会の開催
- ③高齢者・在宅患者の服薬支援ガイドブックの活用 など

(3)調剤事故防止と安全管理体制の強化

- ①地域薬剤師会担当者会議の開催
- ②公益財団法人 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力
- ③医療安全管理指針、医薬品の安全使用のための業務手順書の周知徹底
- ④医療安全に関する研修会の開催 など

(4)地域住民の健康支援拠点としての薬局の役割強化

- ①信州 ACE プロジェクトへの協力
- ②薬と健康の週間における健康啓発事業の実施
- ③健康サポート薬局の体制整備及び拡充支援 など

(5)ジェネリック医薬品の使用促進

- ①協会けんぽ等関係団体との連携による事業の実施
- ②長野県ジェネリック医薬品使用促進連絡会等との連携 など

(6)一般用医薬品等の安全な供給体制の確立

- ①医薬品販売制度の充実及び医薬品販売ルールの遵守
- ②一般医薬品及び販売等に関する研修会
- ③「一般用医薬品販売における薬効別推奨マニュアル」「要指導医薬品及び第1類医薬品販売における情報提供マニュアル」の活用 など

(7)医療用麻薬の供給と適正使用

- ①行政、関係機関・団体との連携による研修会等への協力 など

(8)休日・夜間の医薬品供給体制の充実

- ①休日・夜間の医薬品供給体制の充実に向けた支援 など

(9)信州健康支援薬局制度の運営

- ①信州健康支援薬局制度の活性化
- ②信州健康支援薬局制度運営協議会の開催(認定審査等)
- ③信州健康支援薬局の広報活動 など

(10)薬業関連情報の提供

- ①地域薬剤師会長、職種部会長、会員等関係者への情報提供 など

(11)保険薬局事業協同組合活動並びに会営薬局活動の支援

- ①保険薬局事業協同組合・会営薬局活動の支援及び諸問題への対応方法等についての支援 など

3. 地域医療・保健・福祉活動に関する事項

(1)地域保健活動・健康増進活動の実施・推進

- ①県薬・地域薬剤師会における薬・健康講座開催支援
- ②「薬と健康の週間」関連事業の実施
- ③多職種の研修会開催への協力 など

(2)2025年地域包括ケアシステム構築に向けた地域の多職種協働による在宅医療の推進

- ①県、保健福祉事務所(保健所)、医療関係団体、病院等との連携
- ②新オレンジプランにおける薬剤師の認知症対応能力向上研修への協力
- ③薬剤師の地域ケア会議等参画への支援 など

(3)安全・有効かつ医療の適正化を踏まえた薬物療法の高度化への対応

- ①2019 年度医療機器等の営業管理者、医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修会の開催
- ②2019 年度DEM（薬剤イベントモニタリング）事業への協力
- ③最新医療情報の活用促進 など

(4)県民のセルフメディケーションの推進

- ①2019 年度「薬と健康の週間」等を活用した広報
- ②各種メディアを通じた県民への周知 など

(5)医療法、健康増進法等に基づき、国・県等が実施する諸計画及び施策への協力

- ①健康日本 21(第二次)事業への協力
- ②長野県総合 5 か年計画 2018～しあわせ信州創造プラン 2.0～への協力
- ③第 2 期信州保健医療総合計画への協力
 - 1)第 7 次長野県保健医療計画
 - 2)第 3 次長野県健康増進計画
 - 3)長野県母子保健計画
 - 4)長野県医療費適正化計画（第 3 期）
 - 5)長野県がん対策推進計画
 - 6)長野県歯科保健推進計画
 - 7)アルコール健康障害対策推進計画
 - 8)長野県の感染症の予防のための施策の実施に関する計画
 - 9)長野県肝炎対策推進計画
- ④第 7 期長野県高齢者プランへの協力 など

(6)病院・診療所薬剤師業務の充実

- ①県内病院・診療所等との連絡会・情報交換会の開催
- ②専門薬剤師、認定薬剤師の育成支援、認定更新支援
- ③新人薬剤師に対する研修会の開催
- ④薬剤師専門講座の開催及び医療安全研修会等の開催
- ⑤中小病院薬剤師の現状調査および情報交換会の開催
- ⑥県薬病院診療所部会・県病院薬剤師会合同学術大会の開催 など

(7)病院・診療所薬剤師と薬局薬剤師の連携強化

- ①病院・診療所薬剤師と薬局薬剤師の連携に関する研修会の開催
- ②県薬誌「りんどう」及びホームページ等を通じた研修案内
- ③病診薬連携の情報共有推進
- ④ポリファーマシー対策の推進 など

(8)地域医療介護総合確保基金(2019年度長野県計画)を活用した薬剤師復職・就業支援事業への参画

- ①薬剤師復職・就業支援研修会の開催
- ②薬剤師復職・就業支援事業広報
- ③薬剤師復職・就業支援用ホームページの整備 など

(9)感染症対策への対応

- ①会員への情報伝達
- ②長野県健康福祉部との連携
- ③新型インフルエンザ等感染症への対応
- ④AMR(薬剤耐性)対策に対する取り組み(抗生物質の適正使用推進及び地域住民への啓発) など

(10)過量服薬・自殺予防等対策

- ①自殺対策に関する研修会の開催
- ②薬剤師による過量服薬・自殺予防等対策
- ③長野県地域自殺対策強化事業(2019年度委託事業)への協力 など

(11)温泉保健科学啓発活動の推進

- ①長野県環境審議会温泉審査部会への参画 など

4. 社会活動に関する事項

(1)災害時の医療救援体制・地域への協力体制の整備

- ①災害時における情報収集、情報伝達等の本会(災害対策本部)機能の充実
- ②災害対策マニュアルの改訂
- ③業務継続計画(BCP)の策定
- ④新型インフルエンザ等対策業務計画の改訂
- ⑤長野県との災害協定の見直し
- ⑥長野県総合防災訓練等への参加
- ⑦長野県及び地方自治体並びに関連団体、日本薬剤師会等との連携 など

(2)学校薬剤師活動並びに学校保健活動の推進

- ①学校環境衛生検査の完全実施に向けた支援
- ②おくすり教育の実施・支援
- ③学校薬剤師の資質の向上のための諸事業
- ④長野県学校保健会養護教諭部会との連携
- ⑤学校環境衛生基準改訂への対応
- ⑥認定こども園・幼稚園への学校薬剤師配置及び学校薬剤師の増員策の検討並びに環境衛生管理体制の検討 など

(3)薬物乱用防止活動並びに禁煙啓発活動の推進

- ①児童・生徒等を対象とした薬物乱用防止授業の開催
- ②「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び国連支援募金への協力
- ③世界禁煙デー及び禁煙週間への協力
- ④受動喫煙防止対策強化についての協力
- ⑤危険ドラッグ撲滅に向けた対策と防止に向けた広報及び啓発活動
- ⑥スマートドラッグ、医療用大麻等に係る問題への対応 など

(4)アンチ・ドーピング活動及びスポーツファーマシストのアンチ・ドーピング活動支援

- ①アンチ・ドーピングホットラインによる相談対応
- ②薬剤師・スポーツファーマシストのアンチ・ドーピング活動支援
- ③県民向けアンチ・ドーピング啓発活動（ホームページ等）
- ④長野県医師会、長野県体育協会など関連機関・団体等との連携 など

(5)地域社会活動への参加・協力

- ①会員の地域社会活動への積極的参画
- ②県民に対する研修会等への講師派遣等の協力
- ③「薬草の森りんどう」等を活用した「薬草に親しむ会」等の開催
- ④高齢者等支援事業の推進への協力
- ⑤特殊詐欺防止活動、交通安全啓発活動等への協力 など

(6)お薬相談室の運営

- ①地域住民からの薬等に関する相談対応 など

(7)県民公開講演会等の開催を通じた啓発事業

- ①県民公開講演会の開催 など

5. 環境保全及び公衆衛生に関する事項

(1)環境問題に係る啓発活動

- ①環境啓発活動の推進(環境セミナーの開催・環境フェアへの参画等) など

(2)公衆衛生に係る啓発活動

- ①水道水の検査による、安全性の確認と日常の水質管理に必要な情報の提供
- ②地域住民の生活用水である井戸水の検査による、衛生面の確認と予防措置への貢献
- ③災害等緊急時における水道水等検査依頼への態勢確保 など

(3)環境美化活動、自然保護活動、地球温暖化防止活動等環境保全活動への参加

- ①省エネルギー対策（クールビズ・ウォームビズ等）
- ②地域美化活動 など

6. 学術・研修・情報に関する事項

(1) 薬剤師生涯学習の推進と充実

- ① 各種研修会等開催情報の提供
- ② 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の推進(薬剤師生涯学習達成度確認試験への対応など) など

(2) 長野県薬剤師研修協議会との連携強化

- ① 日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度「集合研修」の申請手続きのサポート
- ② 各種学術大会・研修会等の開催支援 など

(3) 薬剤師養成のための薬学教育への対応

- ① 認定実務実習指導薬剤師の養成(WS 開催支援・座学の開催)
- ② 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催(アドバンスワークショップの開催)
- ③ 病院実習・薬局実習の連携構築、合同会議の開催
- ④ ふるさと実習の推進 など

(4) 学術・研究活動の充実

- ① 第 55 回長野県薬剤師会学術大会の開催
- ② 2019 年度「長野県薬剤師会研究助成 21」事業
- ③ 薬剤師の研究に係る倫理審査及び倫理研修会の開催
- ④ 研究発表推進のための研修会の開催 など

(5) 医薬品情報活動の推進

- ① 会員、医療従事者等からの質疑応答対応
- ② 最新医薬品情報(書籍・雑誌等)の充実
- ③ 文書、県薬誌りんどう「医薬品情報」、県薬ファクシミリ情報、県薬 HP 等による情報提供
- ④ 日本薬剤師会中央薬事情報センター広報・情報室、都道府県薬剤師会薬事情報センターとの連携および薬事情報等の共有
- ⑤ 薬局実務実習への協力 など

(6) 医薬品の品質管理、医薬品試験検査研究の実践

- ① 医薬品の精度管理試験等の実施 など

7. 会の活性化及び組織に関する事項

(1) 諸規程等の一部改正

- ① 諸規程・規約等の一部改正 など

(2) 組織機能の強化及び会員拡充対策の推進

- ① 未加入薬剤師の加入促進(入会促進キャンペーン、薬剤師会 PR パンフレットの作成等) など

(3)職域・職種間の連携強化

- ①職種部会、友好団体との懇談会の開催
- ②流通部会の再開 など

(4)地域薬剤師会及び部会等支援活動の強化

- ①地域薬剤師会連絡協議会の開催
- ②地域薬剤師会活動・事業への支援及び協力
- ③職種部会の活動支援
- ④特別委員会の開催 など

(5)広報事業の推進

- ①各種メディアを活用した地域住民への薬剤師職能・信州健康支援薬局等の広報活動
- ②新聞広告等を活用した会員、地域への薬剤師職能の広報活動
- ③広報媒体の活用
- ④県民に対する薬剤師職能 PR のための資料作成 など

(6) ICT (Information and Communication Technology) 推進による薬剤師業務支援

- ①ホームページを活用した県民、地域薬剤師会、会員への情報発信
- ②ICT を活用した会務・事業の効率化の導入検討
- ③電子お薬手帳の普及促進
- ④テレビ会議システムを活用した研修会開催の検討 など

(7)未就業薬剤師の復職・就業支援の強化

- ①未就業薬剤師の活用促進等事業の推進
- ②新卒者、Uターン、Iターン希望者等への求人情報提供
- ③県薬HPにおける求人情報提供システムの充実
- ④eラーニングシステムの活用 など

(8)薬剤師会検査センター間の連携強化

- ①薬剤師会検査センターの経営体制強化、機能強化 など

(9)薬剤師職能の啓発

- ①中高生のための薬剤師セミナーの開催 など

(10)事務局機能の充実

- ①部・課・室の組織体制の整備
- ②業務の効率化
- ③人事の適正化
- ④「働き方改革」に準拠した職員就業規程等の一部改正 など

(11) 本会創立 130 年(2020 年)記念事業の検討及び準備

- ① 県薬 130 年史の編纂準備
- ② 記念事業の検討 など

8. その他関係事項、継続事業

(1) 関係団体・機関との連携協調

- ① 2020 年度保険医療機関等指導・監査実施計画の打合せ会等行政との連携
- ② 調剤に係る国保・支払基金との合同打合せ会の開催
- ③ 長野県教育委員会保健厚生課、学校保健会養護教諭部会との打合わせ会の開催
- ④ 三師会等医療関係団体との懇談会
- ⑤ 協会けんぽとの包括的連携協定に基づく事業の推進
- ⑥ 長野県薬業協会への参画及び加盟団体との連携 など

(2) 公的審議会等への協力

- ① 長野県医療審議会等各種審議会、委員会等への参画、協力 など

(3) 学術大会及び各種講習会等の開催

- ① 第 55 回長野県薬剤師会学術大会の開催
- ② 第 52 回北陸信越薬剤師学術大会における研究発表及び参加
- ③ 第 52 回日本薬剤師会学術大会における研究発表及び参加
- ④ 第 53 回北陸信越薬剤師学術大会(2020 年度本県主管)の準備 など

(4) 県薬誌「りんどう」の発行

- ① 会員並びに関係機関、都道府県薬、薬科大学、各級議員等への送付
- ② ペーパーレス化の検討 など

(5) 共済事業の実施

- ① 共済事業に関する物品の作成・購入 など

(6) 福利厚生事業の向上

- ① 給付事業（慶弔関係・災害見舞金等の給付）
- ② 薬局ローン斡旋
- ③ 日本薬剤師会共済部加入促進
- ④ 薬剤師賠償責任保険(個人情報漏えい保険)・休業補償保険(長期休業補償保険)・アンチ・ドーピング活動保険加入促進
- ⑤ 日本薬剤師会国民年金基金、日本薬剤師会薬剤師年金保険制度加入促進への協力
- ⑥ 各種表彰推薦
- ⑦ 職員の福利厚生(職員健康診断等) など

(7) 県薬会営薬局・検査センターの運営

① 会営薬局

- 1) 県薬会員薬局との連携
- 2) 実務実習、社会人研修受入体制、指導体制の充実
- 3) 患者のための薬局ビジョンに対応した薬局業務構築
- 4) 健康サポート薬局機能充実及び在宅医療基幹薬局としての整備
- 5) 災害時における医療救援の拠点薬局としての整備
- 6) 会営薬局アクションプログラムに基づく運営
- 7) お薬相談室の運営
- 8) 会営薬局連絡協議会(仮称)の開催検討 など

② 検査センター

- 1) 安定経営に向けた営業活動の強化(営業担当者の育成)
- 2) 検査センターアクションプログラムに基づく運営
- 3) 4 薬剤師会検査センター及び県外検査センターとの連携
- 4) ISO17025の認証維持 など

(8) 消費税増税への対応

(9) その他本会の目的達成のために必要な事業

- ① 医薬品総合研究センター、生活科学センターの中・長期整備計画の検討
- ② 新元号への対応 など